

授業科目区分		科目名		単 位	科目コード	開講時期	履 修 方 法		
専門教育課程 専門科目 専門		建築デザイン基礎 Basic Representation of Architectural Design		2	A006-01	2期(後学期)	修学規程第4条を参照		
担当教員名		研究室	内線電話番号	電子メールID			オフィスアワー		
授 業 科 目 の 学 習 教 育 目 標									
キーワード		学習教育目標							
1	立体思考とスケール感覚	「建築大意」で建築学の全体像を、「建築のしくみ」で建築構造の基礎的な成り立ちを学んだ事を踏まえ、本科目では建築デザインを提案するための基礎的な考え方や活動の枠組みを学ぶ。具体的には、建築デザインの立体的な構成について構想しスケッチ・模型・CADで表現することによって、構造体や意匠の要素を含めた総合体としての建築デザインの在り様について基本的な理解や考察ができるようになることを目的とする。また、この内容は2年次の「建築設計」で求められる設計案の検討や伝達のための基礎技術となる。							
2	視覚表現と伝達								
3	空間性：材料/力学/美しさ								
4	人間性：記憶/体験/感性								
5	関係性：歴史/環境/地域連携								
授業の概要および学習上の助言									
本授業は演習を中心に下記のかたちで構成される。 初回：オリエンテーション：授業概要説明、課題説明 2回～7回：第1課題～基本立体から発想する空間デザイン演習～ 基本立体を編集して小空間を提案し、模型制作およびCAD等によるプレゼンボードを作成する 8回～11回：第2課題～空間体験デザイン演習～ 自身の空間体験や記憶、空間と人の振る舞いの相互作用について考え、空間体験プレゼンボードを作成する 12回～15回：第3課題～敷地の条件や文脈から発想する空間デザイン演習～ 敷地リサーチに基づいて小空間を提案し、模型制作およびCAD等によるプレゼンボードを作成する 16回：講評会、アンケート実施、成績確認									
【教科書および参考書・リザーブブック】									
教科書：指定なし 参考書：指定なし リザーブブック：指定なし									
履修に必要な予備知識や技能									
建築デザインという行為は各種の知識や経験を自らの中に取り込む行為とそれらを総合化して建築や街の姿を提案する行為の2つで成り立っています。日頃からの、特徴的な建築空間の姿・その成立背景・そこでの人の振る舞いについて積極的に情報収集(読書や実体験など)を行い、その特徴の理解や考察に努め、自身の構想と結び付けて考える習慣を身に付けるようにしてください。また、自身の構想を他者により良く理解してもらうためには、考え方が明確に伝わる立体表現と、それを補う適切な言葉での説明がとても重要です。その他、授業中は限られた時間内で課題制作を進めるので欠席・遅刻をしないこと。									
学科教育目標 (記号表記)		学生が達成すべき行動目標							
I,K		特徴的な建築空間の姿・その成立背景・そこでの人の振る舞いについて情報収集を行い、その特徴を理解し、考察できる							
J,Q,K		建築空間の構想に必要な知識・体験を適宜補いながら、自身の考えを整理し、スケッチや言葉でまとめることができる							
K,R		自身が構想した立体的な空間の姿を模型を用いて表現し、他者に分かり易く説明できる							
P,R		自身が構想した立体的な空間の姿を3次元CADを用いて表現し、他者に分かり易く説明できる							
J,K,R		模型写真、CADモデル、スケッチ、言葉を組み合わせ、設計案を総合的に伝えるプレゼンボードを作成できる							
達 成 度 評 価									
評価方法		試 験	クイズ 小テスト	レポ-ト	成果発表 (口頭・実技)	作 品	ポ-トフォリオ	その他	合 計
指標と評価割合									
総合評価割合		0	0	0	0	100	0	0	100
総合力指標	知識を取り込む力	0	0	0	0	25	0	0	25
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	25	0	0	25
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表・表現・伝達する力	0	0	0	0	25	0	0	25
	学習に取組む姿勢・意欲	0	0	0	0	25	0	0	25

総合力指標で示す数値内訳は、授業運営上のおおよその目安を示したものです。

評価の要点

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点
試験		
クイズ 小テスト		
レポート		
成果発表 (口頭・実技)		
作品	レ レ レ レ	「授業の概要」で紹介した3つの課題を実施し、各課題での紙面や模型の成果物を評価し、採点する。また、3課題の採点結果を総合し、「作品」の点数とする。
ポートフォリオ		
その他		

具体的な達成の目安

理想的な達成レベルの目安	標準的な達成レベルの目安
<p>特徴的な建築空間の姿・その成立背景・そこでの人の振る舞いについて積極的に情報収集し、その特徴を理解し、客観的に考察できる</p> <p>建築空間の構想に必要な知識・体験を適宜補いながら、自身の考えを整理し、スケッチや言葉で魅力的にまとめることができる</p> <p>自身が構想した立体的な空間の姿を模型を用いて魅力的に表現し、他者に分かり易くプレゼンテーションできる</p> <p>自身が構想した立体的な空間の姿を3次元CADを用いて魅力的に表現し、他者に分かり易くプレゼンテーションできる</p> <p>模型写真、CADモデル、スケッチ、言葉を組み合わせ、設計案を総合的に伝える魅力的なプレゼンボードを作成できる</p>	<p>特徴的な建築空間の姿・その成立背景・そこでの人の振る舞いについて情報収集し、その特徴を理解し、考察できる</p> <p>建築空間の構想に必要な知識・体験を適宜補いながら、自身の考えを整理し、言葉やスケッチでまとめることができる</p> <p>自身が構想した立体的な空間の姿を模型を用いて表現し、他者に分かり易く説明できる</p> <p>自身が構想した立体的な空間の姿を3次元CADを用いて表現し、他者に分かり易く説明できる</p> <p>模型写真、CADモデル、スケッチ、言葉を組み合わせ、設計案を総合的に伝えるプレゼンボードを作成できる</p>

授業明細表

CLIP学習プロセスについて

一般に、授業あるいは課外での学習では：「知識などを取り込む」「知識などをいろいろな角度から、場合によってはチーム活動として、考え、推論し、創造する」「修得した内容を表現、発表、伝達する」「総合的に評価を受ける、Good Work!」：のようなプロセス（一部あるいは全体）を繰り返し行いながら、応用力のある知識やスキルを身につけていくことが重要です。このような学習プロセスを大事に行ってください。学習課題の時間欄には、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習時間全体としては、各授業に応じた時間（例えば2単位16週科目の場合、予習2時間・復習2時間/週）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	時間(分)
1 /	・オリエンテーション：授業概要の説明 ・課題1「基本立体から発想する小空間のデザイン」の説明 ・基本立体の模型作成	(製図室) 講義、演習	復習(課題に関する事例収集) 予習(次週のデザイン提案と模型作成の構想)	120 120
2 /	・基本立体の分割・配置 ・小空間のエスキスと模型作成	(製図室) 演習	復習(作成中の模型に関する考察) 予習(模型の仕上げの計画)	120 120
3 /	・小空間の模型完成 (各自、6週目の模型提出前までに模型写真撮影を行うこと。また、模型提出前なら設計や模型制作のやり直しは何度やってもよい)	(製図室) 演習	復習(完成した小空間のデザインについて考察、模型が未完成の場合は自宅で仕上げる) 予習(CADでのデザイン表現の事例収集)	120 120
4 /	・CAD演習1	(CAD室) 演習	復習(CADソフトインストールと理解度確認) 予習(設計案CADモデル作成)	120 120
5 /	・CAD演習2	(CAD室) 演習	復習(CAD理解度の確認) 予習(設計案CADモデル作成)	120 120
6 /	・課題1の模型提出(模型写真撮影を済ませておく) ・プレゼンボード作成	(CAD室) 提出、演習	復習(プレゼンボード内容確認) 予習(プレゼンボード仕上げと印刷)	60 180
7 /	・課題1のプレゼンボード提出 ・課題1の講評会 ・課題2「空間体験デザイン」の説明	(製図室) 提出、講評会、講義	復習(自身の達成度の考察) 予習(特徴的な空間体験のピックアップと考察)	120 120
8 /	・自分の好きな空間体験のプレゼンボード作成	(製図室) 演習	復習(プレゼンボード内容の考察) 予習(次週提案する空間構成の構想とエスキス)	60 180
9 /	・課題2 プレゼンボードの提出 ・課題3「敷地や条件の文脈から発想する空間デザイン」の説明	(製図室) 提出、講義	復習・予習(敷地見学、空間特性の観察とメモ・スケッチ)	180
10 /	・課題2の講評会	(製図室) 講評会	復習(自身の達成度の考察) 予習(敷地リサーチシートの下書き)	120 120
11 /	・敷地リサーチシートの作成	(製図室) 演習	復習・予習(敷地分析に基づいた空間提案要件、敷地、用途、規模、空間構成等の検討)	240
12 /	・エスキス：敷地分析に基づいて空間提案要件、敷地、用途、規模、空間構成等を整理し、コンセプトと空間イメージを作成 ・適宜、提案空間の模型作成を開始	(製図室) 演習	復習(エスキスの見直し) 予習(模型作成の計画)	120 120
13 /	・提案空間の模型作成 (各自、完成次第、プレゼンボード用の模型写真撮影を行うこと。プレゼンボード提出前なら設計や模型制作のやり直しは何度やってもよい)	(製図室) 演習	復習(コンセプトとデザインと模型の考察) 予習(CADモデル作成内容の検討)	120 120
14 /	・CAD演習3 ・提案空間のCADモデル作成 (各自、完成次第、プレゼンボード用のパースショットを決めて画像保存すること)	(CAD室) 演習	復習(コンセプトとデザインとCADモデルの考察) 予習(プレゼンボード仕上げ)	120 120
15 /	・課題3 模型とプレゼンボードの提出	(CAD室) 提出	復習・予習(提案内容や作業過程の振り返り)	120
16 /	・課題3の講評会 ・授業内容や自身の取り組みの振り返り	(製図室) 講評会、授業アンケート、成績確認	復習(授業への取り組み意識や達成度の確認)	180